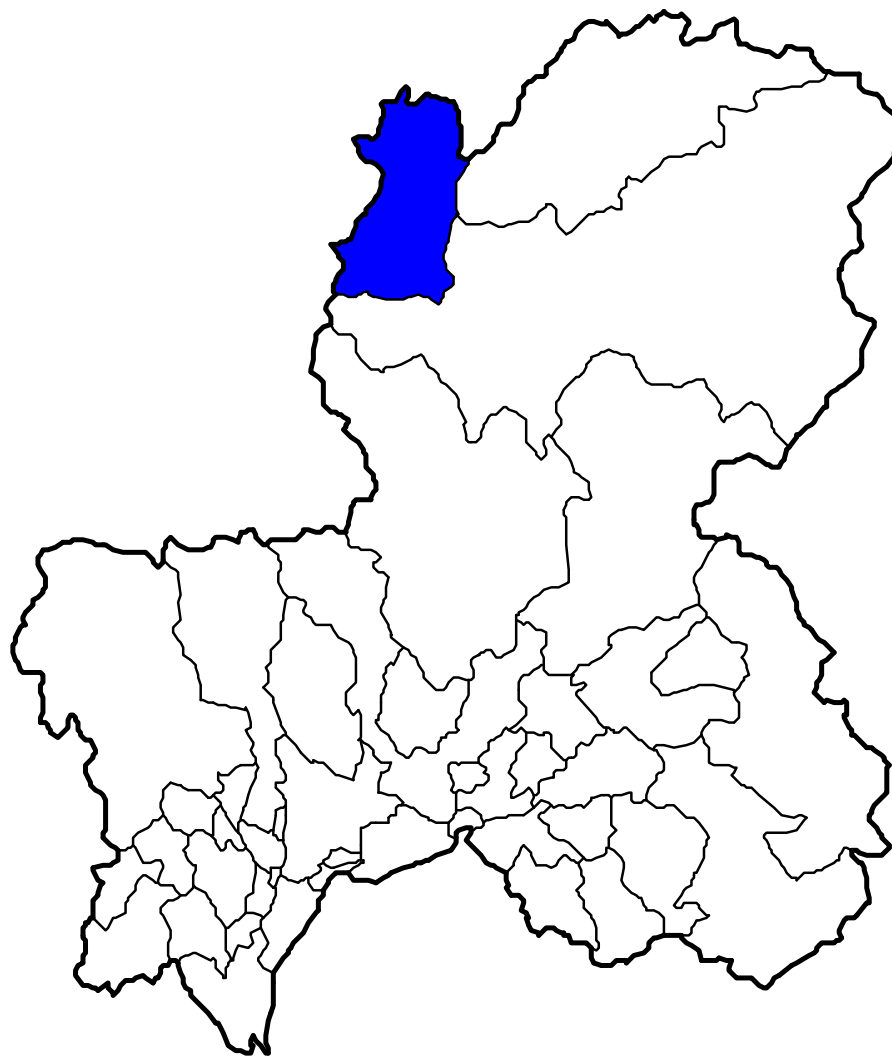


統計からみた 白川村 の現状

総面積km ²	割合%	順位
356.64	3.36	10

※割合：県全体に占める割合



岐阜県 統計課
2026年7月更新

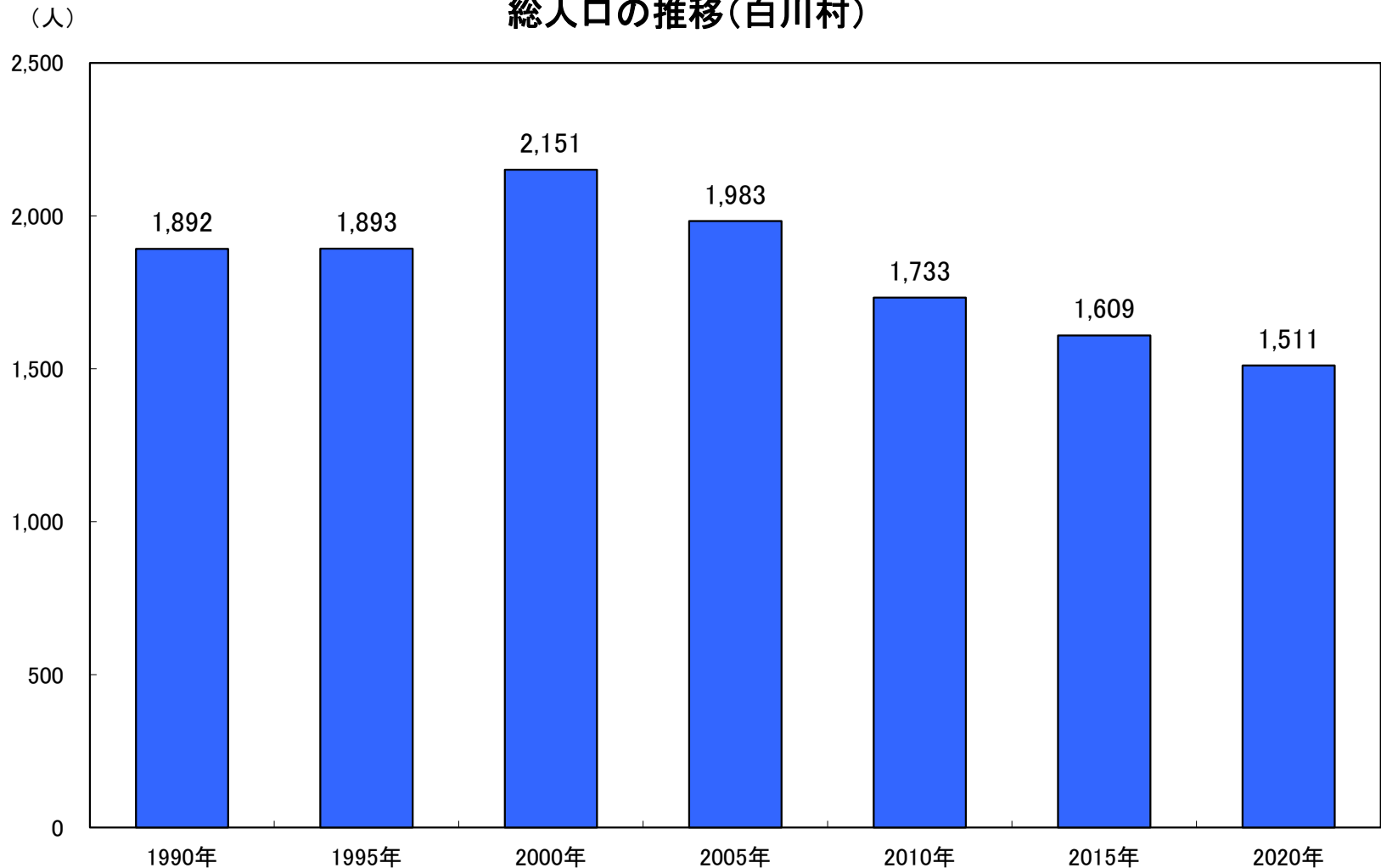
白川村の人口は2005年頃から減少している

2010年：1,733人 → 2015年：1,609人 (△124人)

2015年：1,609人 → 2020年：1,511人 (△ 98人)

人口順位：県内42位 県人口に占める割合：0.1% (1990) →0.1% (2020年)

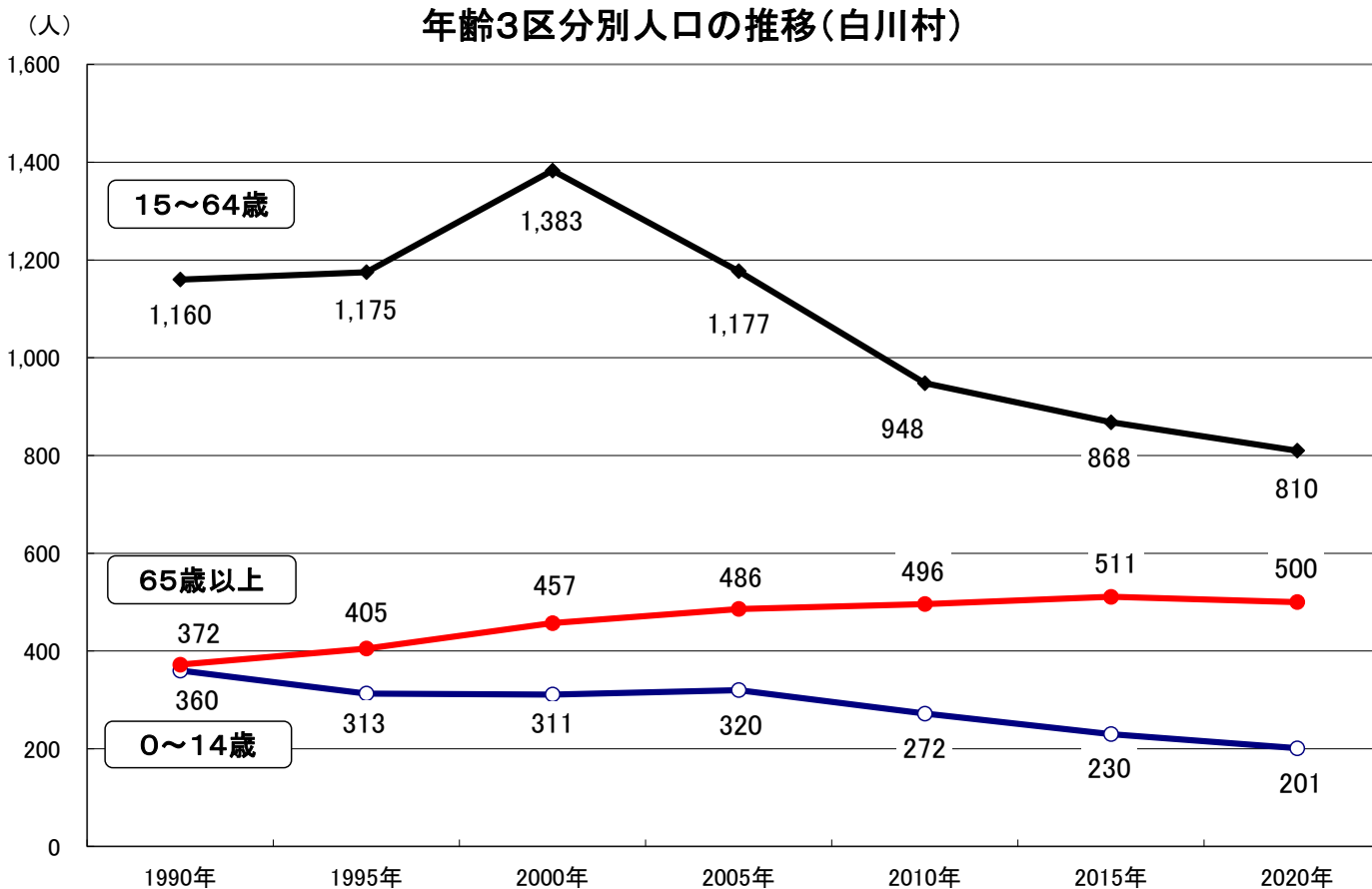
総人口の推移(白川村)



0～14歳の子どもは減少する一方、65歳以上の高齢者は増加 15～64歳人口は2000年頃から減少が続く

人口の増減数	2010→2015年	2015→2020年
0～14歳	△ 42	△ 29
15～64歳	△ 80	△ 58
65歳以上	15	△ 11

	年齢3区分別人口の割合 (2020年)		
	白川村	岐阜県	県内順位
0～14歳	13.3%	12.3%	7位
15～64歳	53.6%	57.3%	30位
65歳以上	33.1%	30.4%	16位

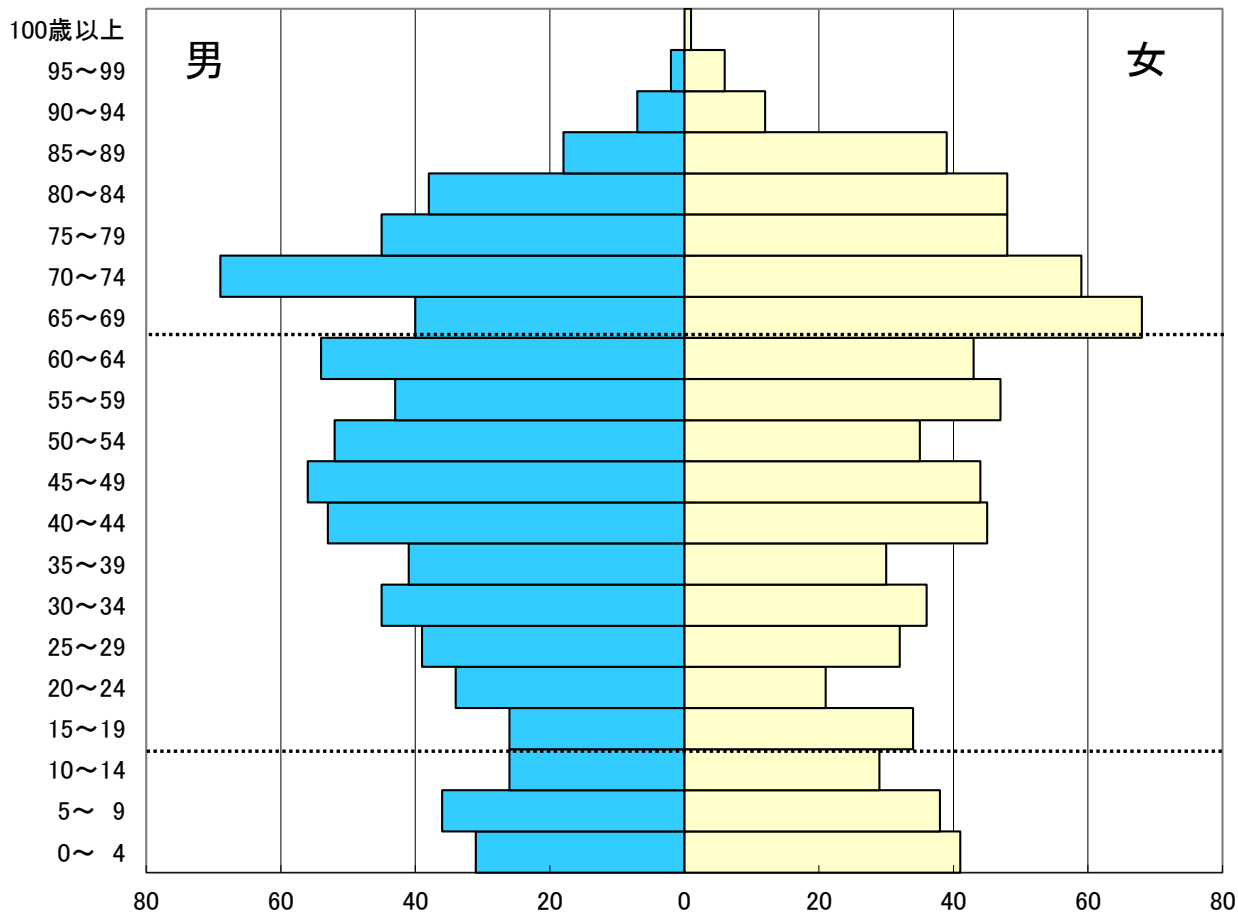


中高年層に厚みのある年齢構造 団塊世代と団塊ジュニア世代が多い

厚みのある中高年層が65歳以上となり、高齢者は増加するとみられる。

人口に占める65歳以上人口の割合 1990年：19.7%（4位） → 2020年：33.1%（16位）

2020年人口ピラミッド（白川村）



	人口(人)	構成比(%)
総人口	1,511	100.0
0~14歳	201	13.3
15~64歳	810	53.6
65歳以上	500	33.1

<岐阜県全体の人口構成>

- ・0~14歳 : 12.3%
- ・15~64歳 : 57.3%
- ・65歳以上 : 30.4%

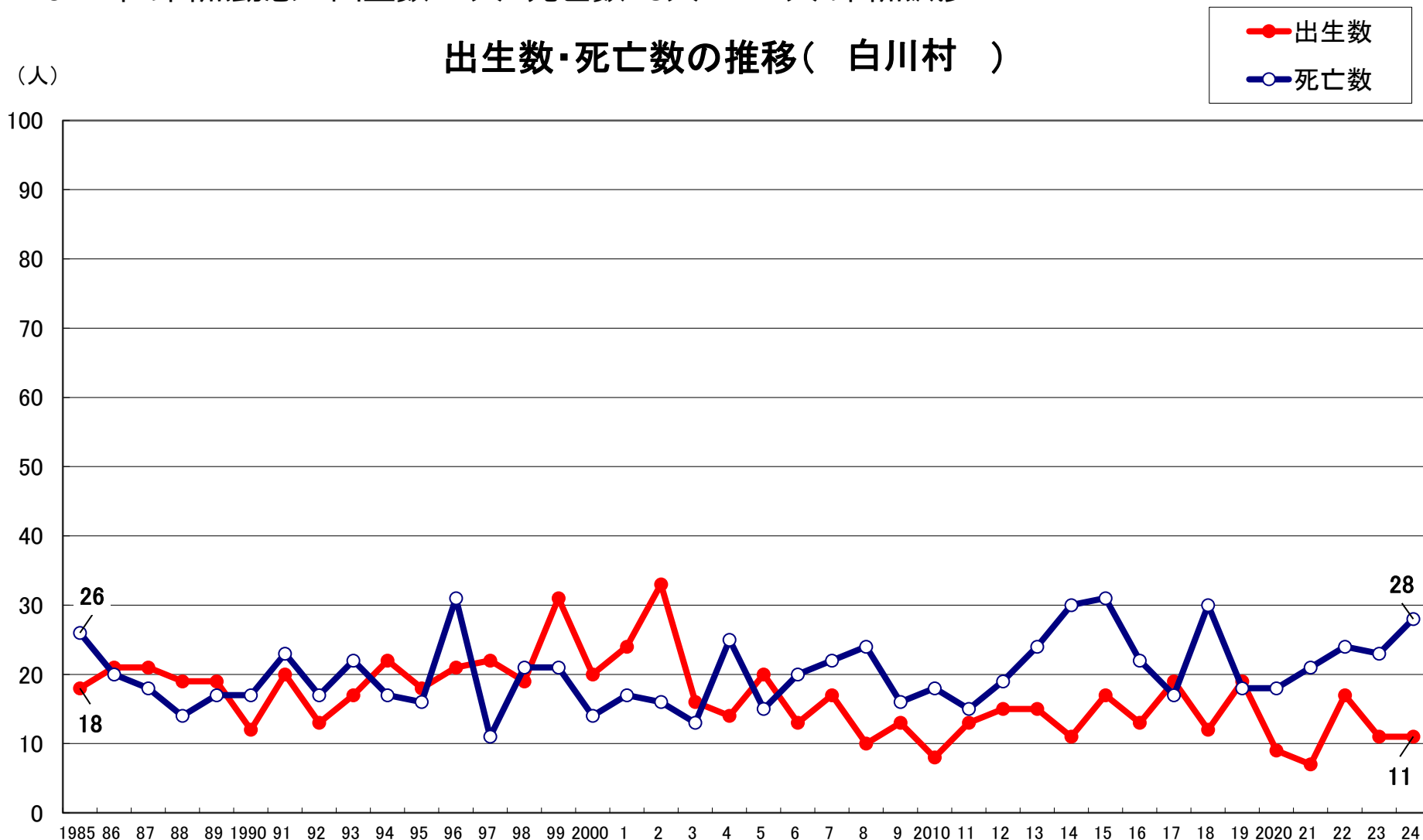
<構成比の県内順位>

- ・0~14歳人口 : 7位
 - ・15~64歳人口 : 30位
 - ・65歳以上人口 : 16位
- ※数値の大きい順

2006年以降、死亡数が出生数を上回る自然減少傾向にある

2024年の自然動態：出生数11人 死亡数28人 17人の自然減少

出生数・死亡数の推移（白川村）



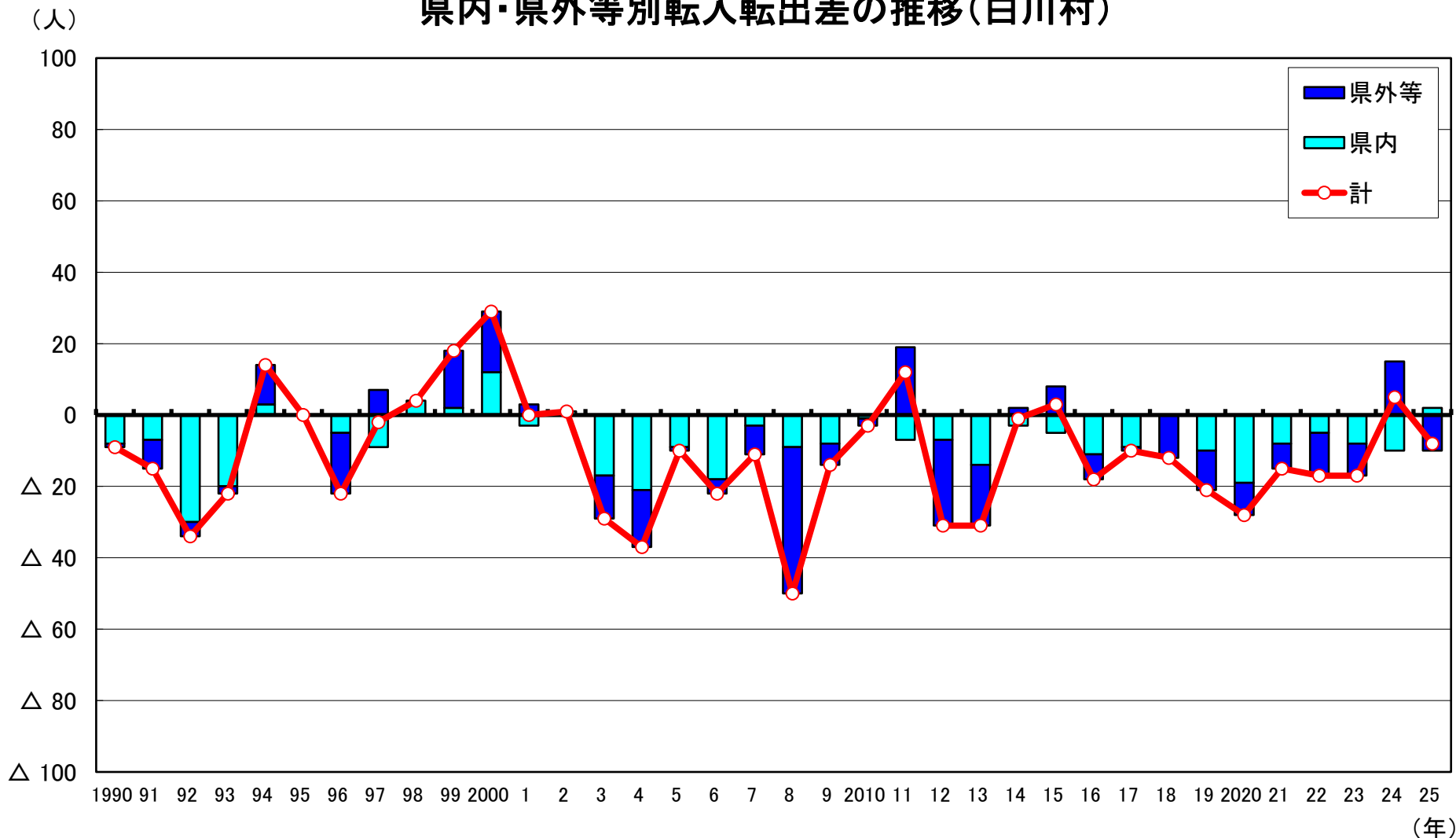
出典：厚生労働省「人口動態統計」(日本人 1～12月の年計)

(年)

2003年以降、転出超過の傾向

2025年の社会動態：転入65人 転出73人 8人の転出超過

県内・県外等別転入転出差の推移(白川村)

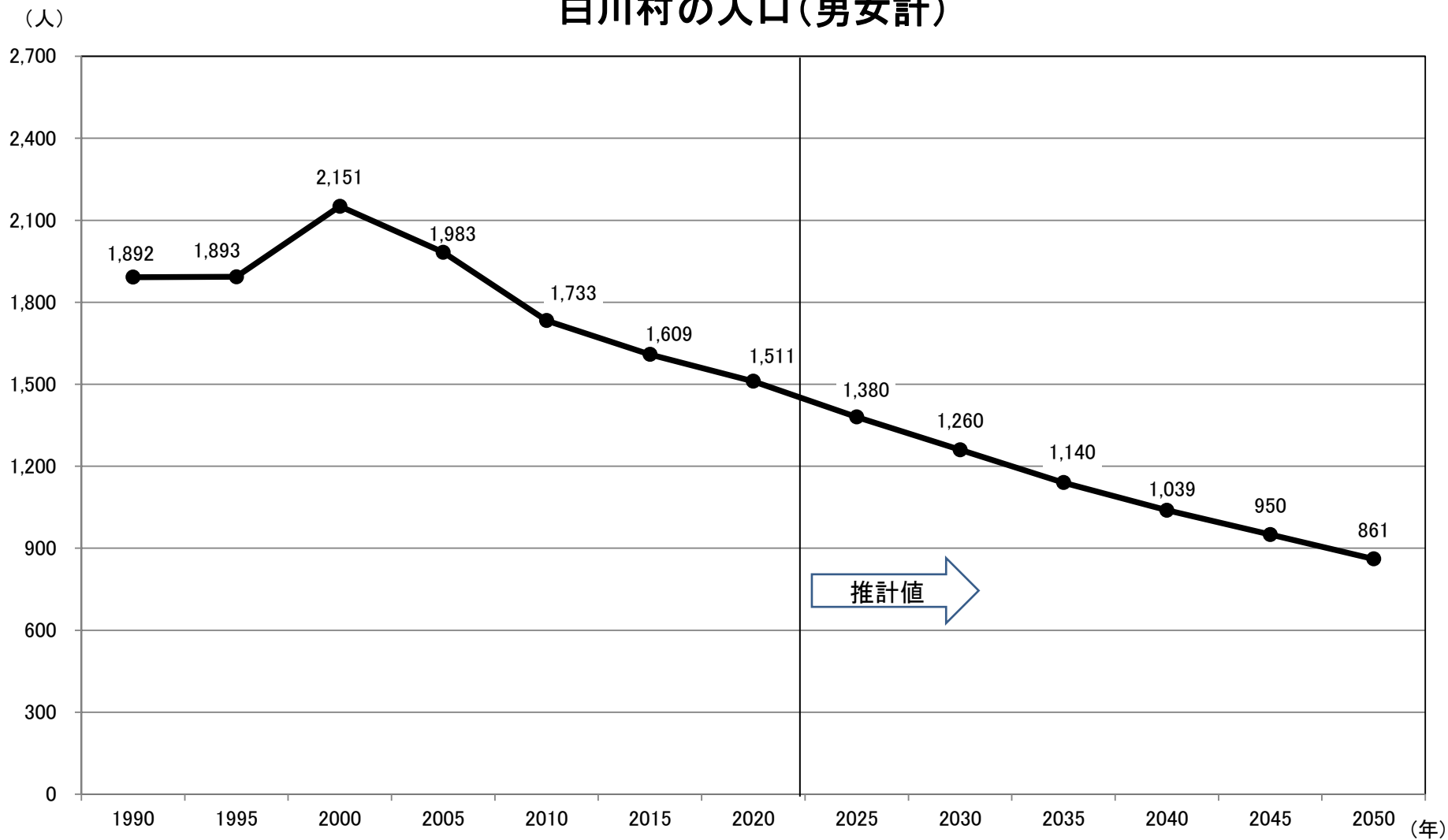


出典：岐阜県「岐阜県人口動態統計調査」 ※計、県外等には職権記載等を含む。 ※転入転出数は前年10月1日～同年9月30日の合計

参考：将来の人口の見通し（総人口の推移）

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」

白川村の人口(男女計)

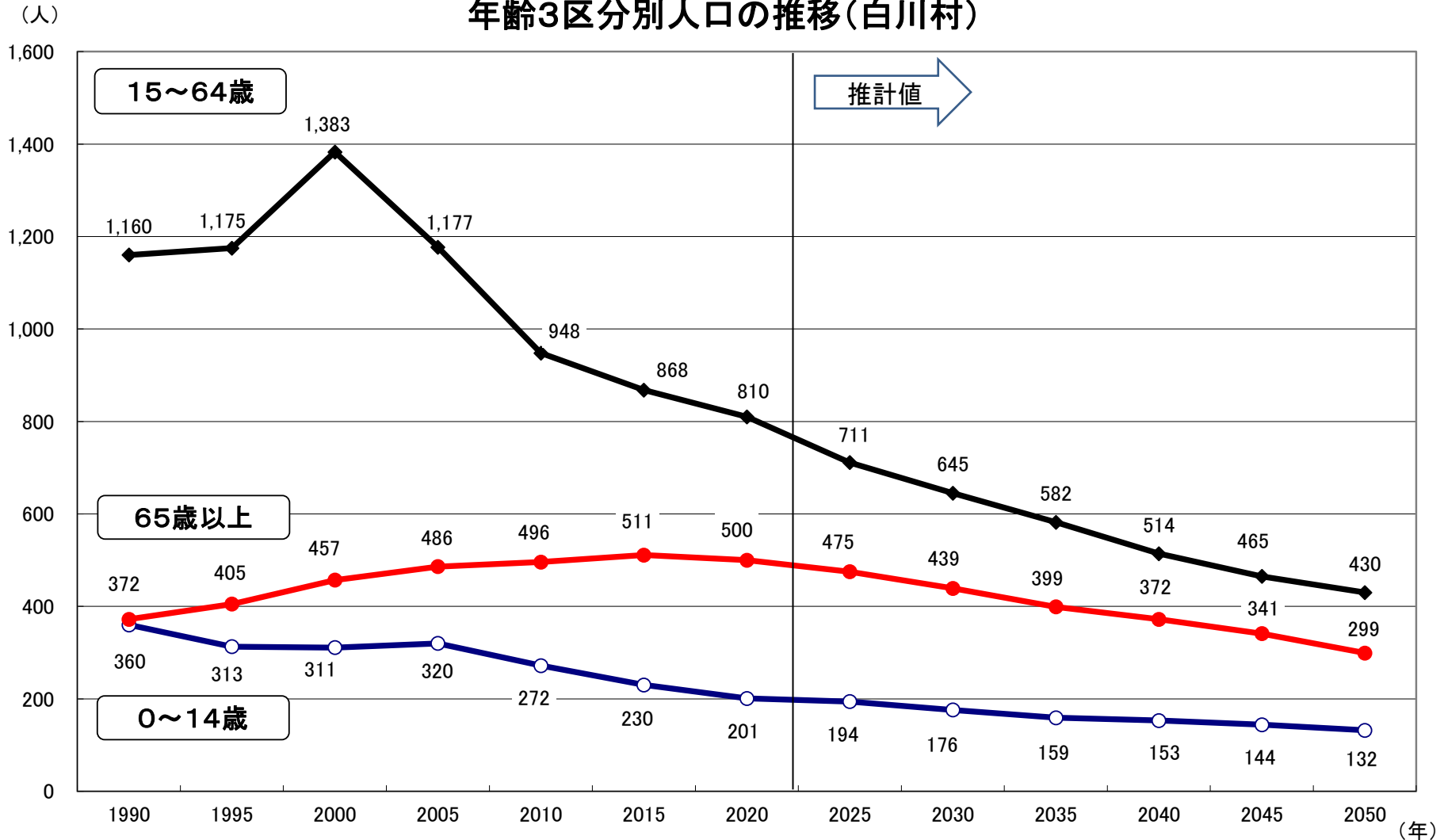


出典：総務省「国勢調査」、2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」

参考：将来の人口の見通し（年齢3区分別人口の推移）

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」

年齢3区分別人口の推移(白川村)



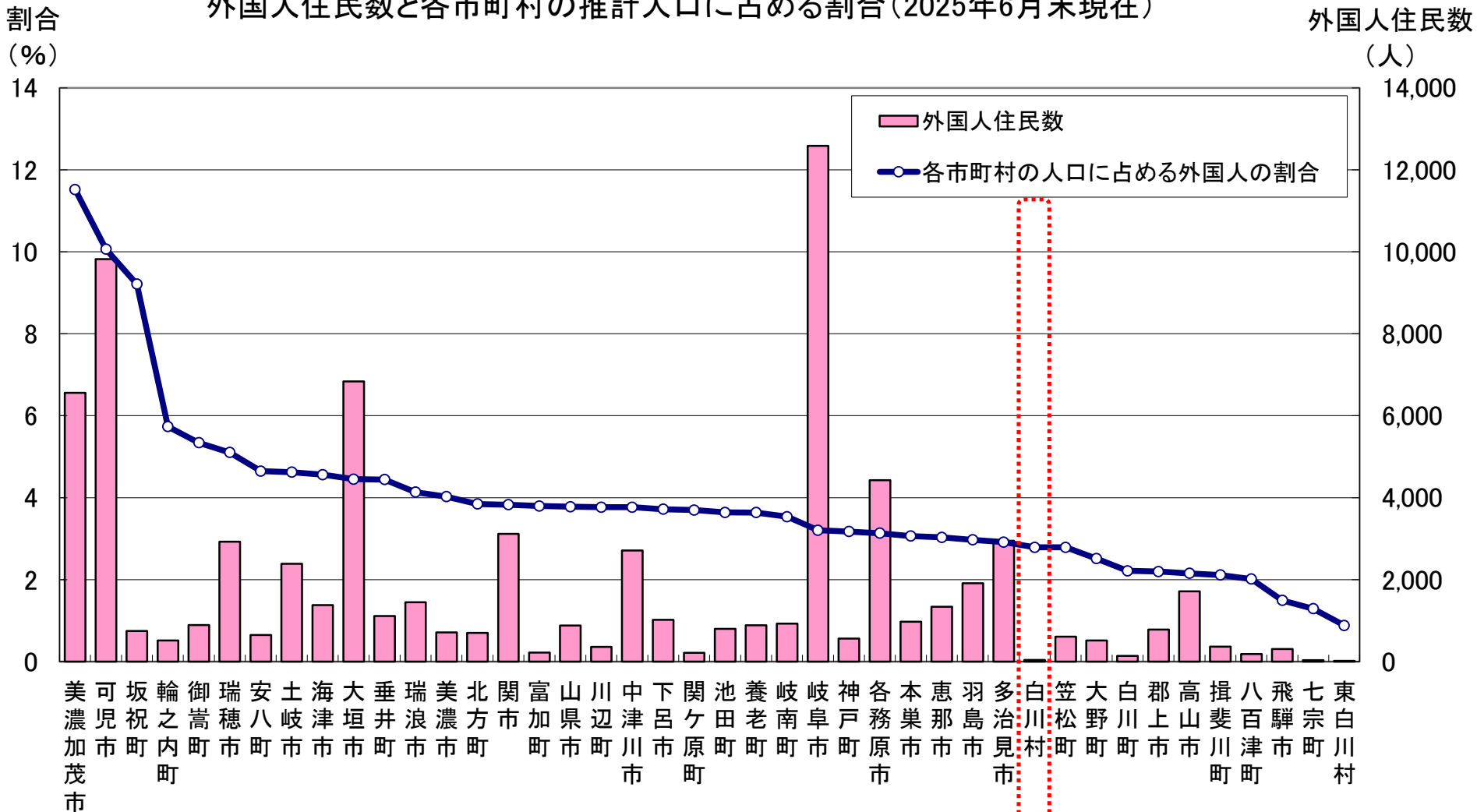
出典：総務省「国勢調査」、2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」

注：2015年、2020年の年齢3区分別人口は、不詳補完値。

人口に占める外国人の割合は2.8%（県内32位）

岐阜県の外国人住民数77,301人のうち、白川村の外国人住民数（39人）は0.05%を占める

外国人住民数と各市町村の推計人口に占める割合（2025年6月末現在）



出典：法務省出入国在留管理庁「在留外国人統計（2025年6月末現在）」、割合は岐阜県「人口動態統計調査」による推計人口（2025年7月1日現在）により算出。

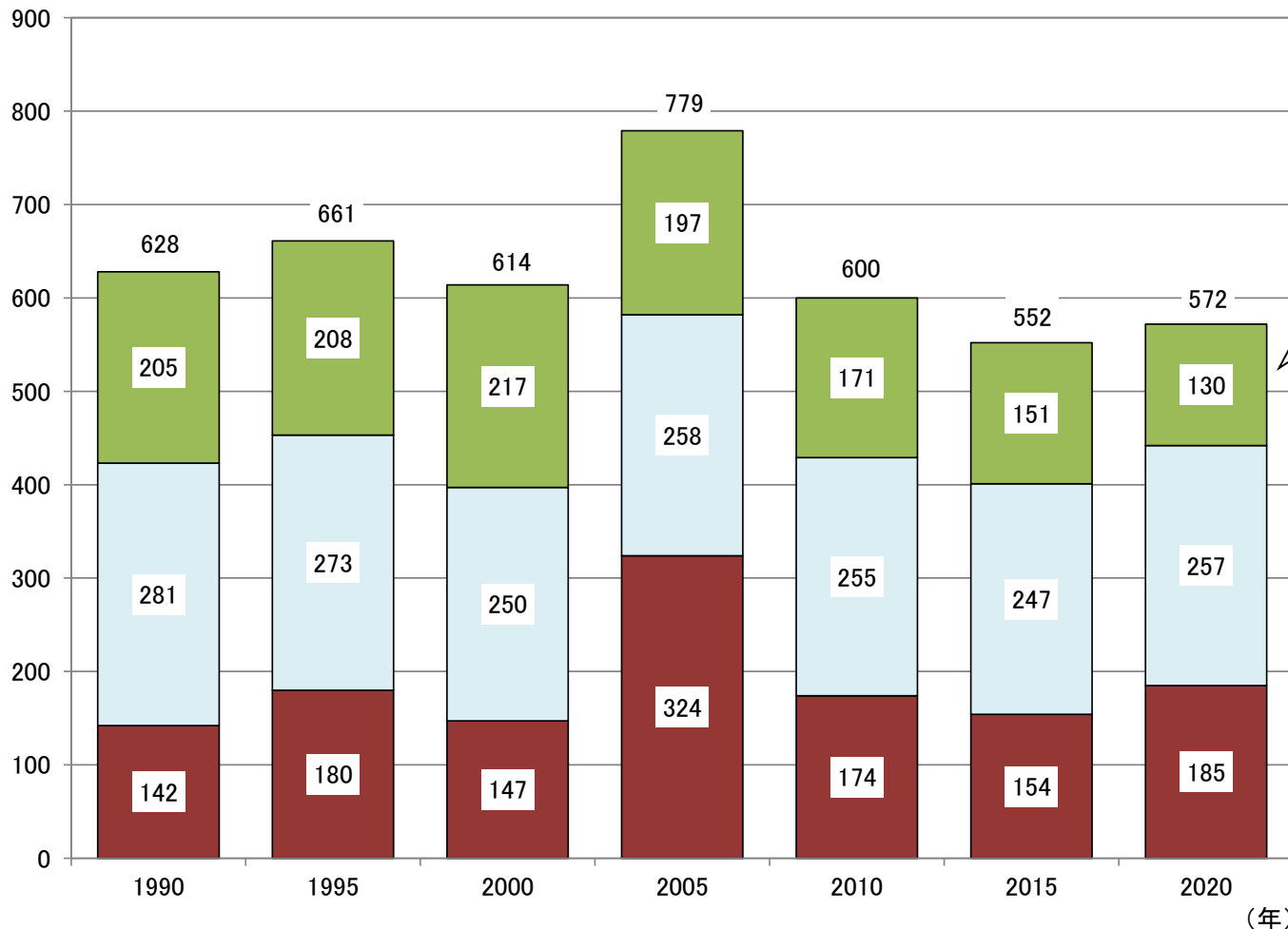
一般世帯数は2010年頃から減少傾向

単独世帯は1990年以降の30年間で約1.3倍に。

1世帯当たり人員数：2.86人（2010年）→2.59人（2020年 県内16位）

家族類型別一般世帯数の推移（白川村）

(世帯)



3世代世帯
86世帯
一般世帯数に占める割合15.0%
(高い方から県内2位)

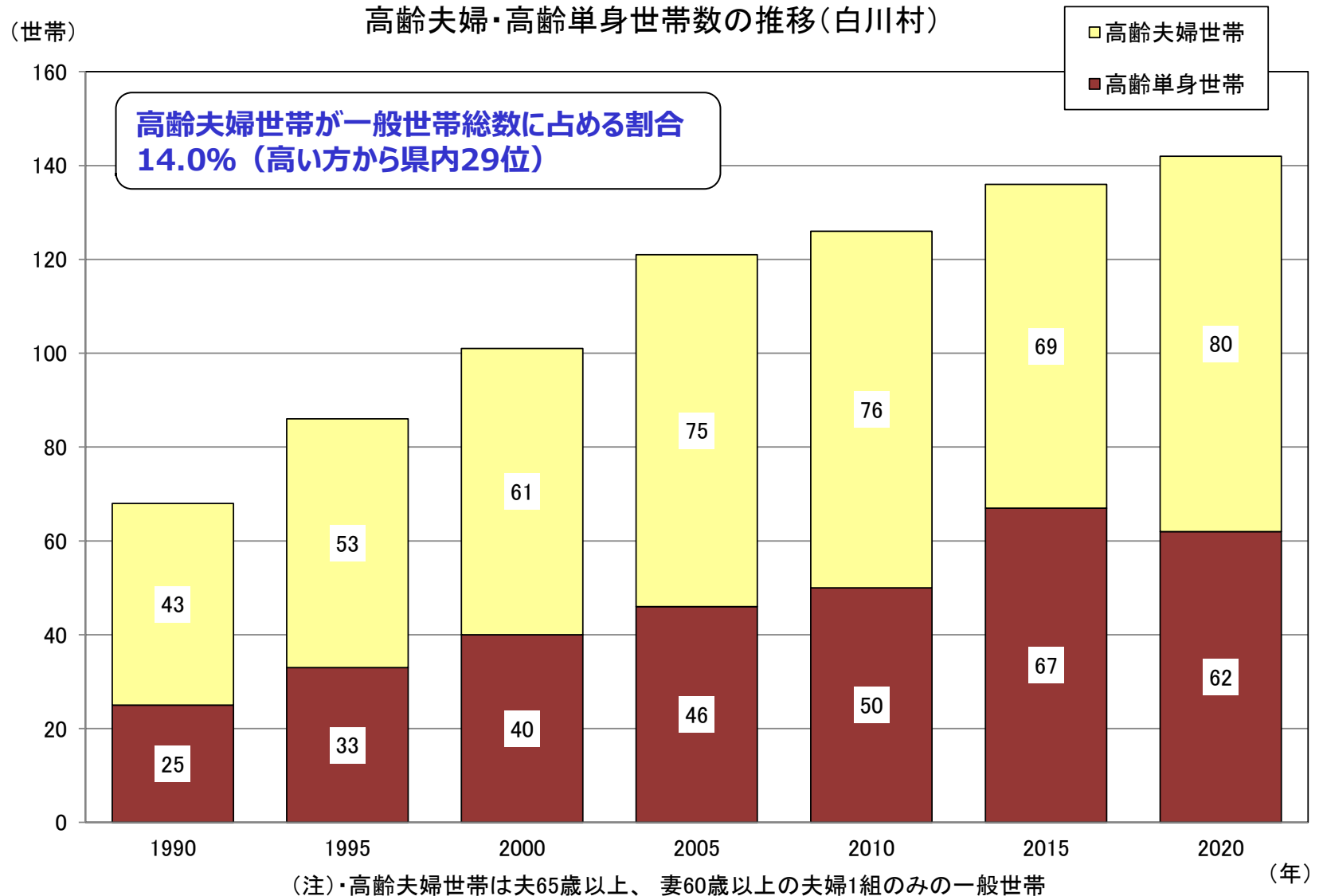
- その他
- 核家族世帯
- 単独世帯

出典：総務省「国勢調査」 注：一般世帯は、病院、社会福祉施設などで生活する人を除いたもの。

2005年の単独世帯の増加は工事関係者の世帯のとらえ方の変更による。

高齢夫婦世帯や高齢単身世帯は増加傾向

1990年以降の30年間で高齢夫婦世帯は1.9倍、高齢単身世帯は2.5倍に増加。

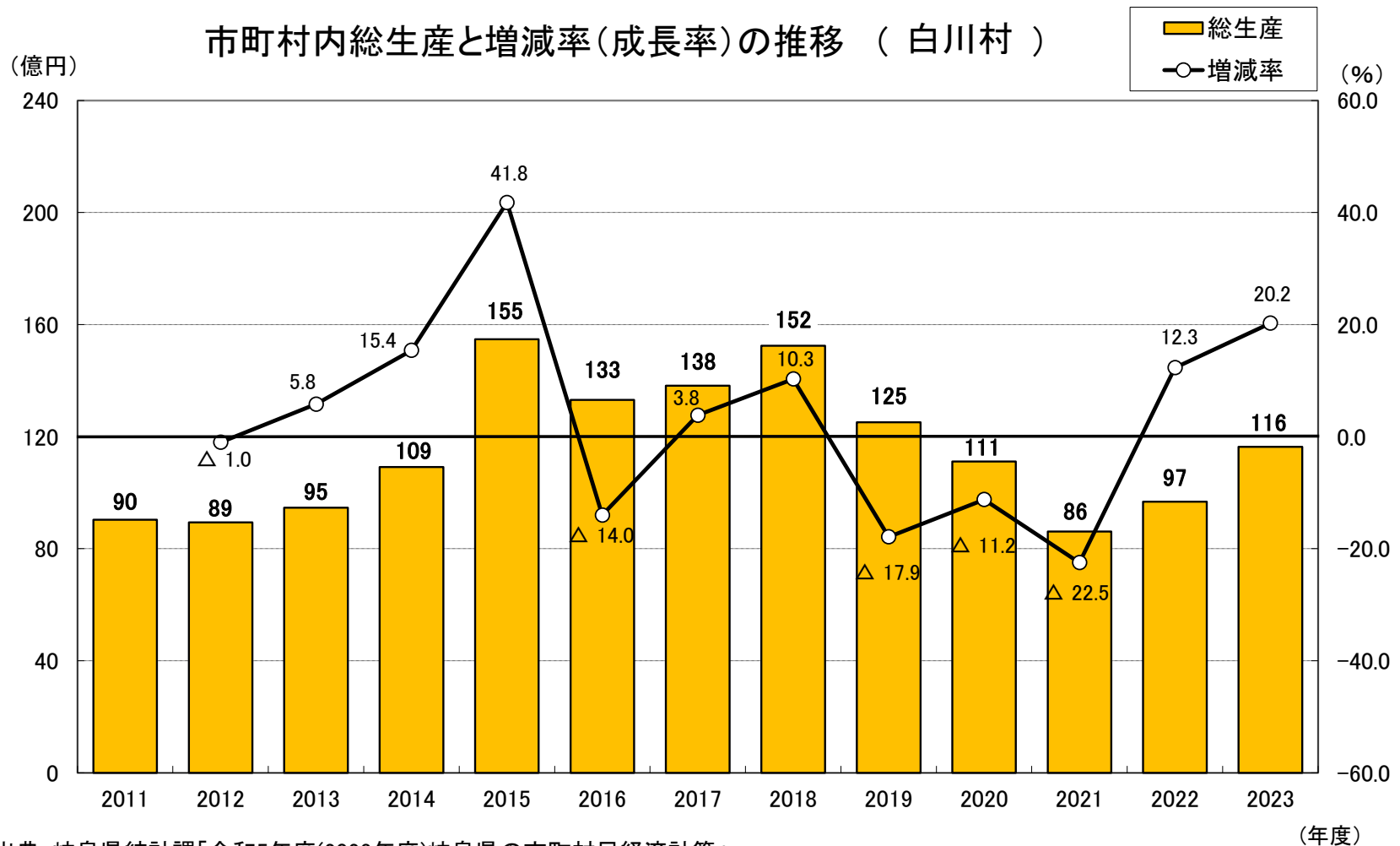


白川村の総生産は116億円 1人当たり市町村民所得は358万6千円

総生産は県（名目8兆3862億円）の0.1%、県内40位

1人当たり市町村民所得は県（326万4千円）の109.9%、県内2位

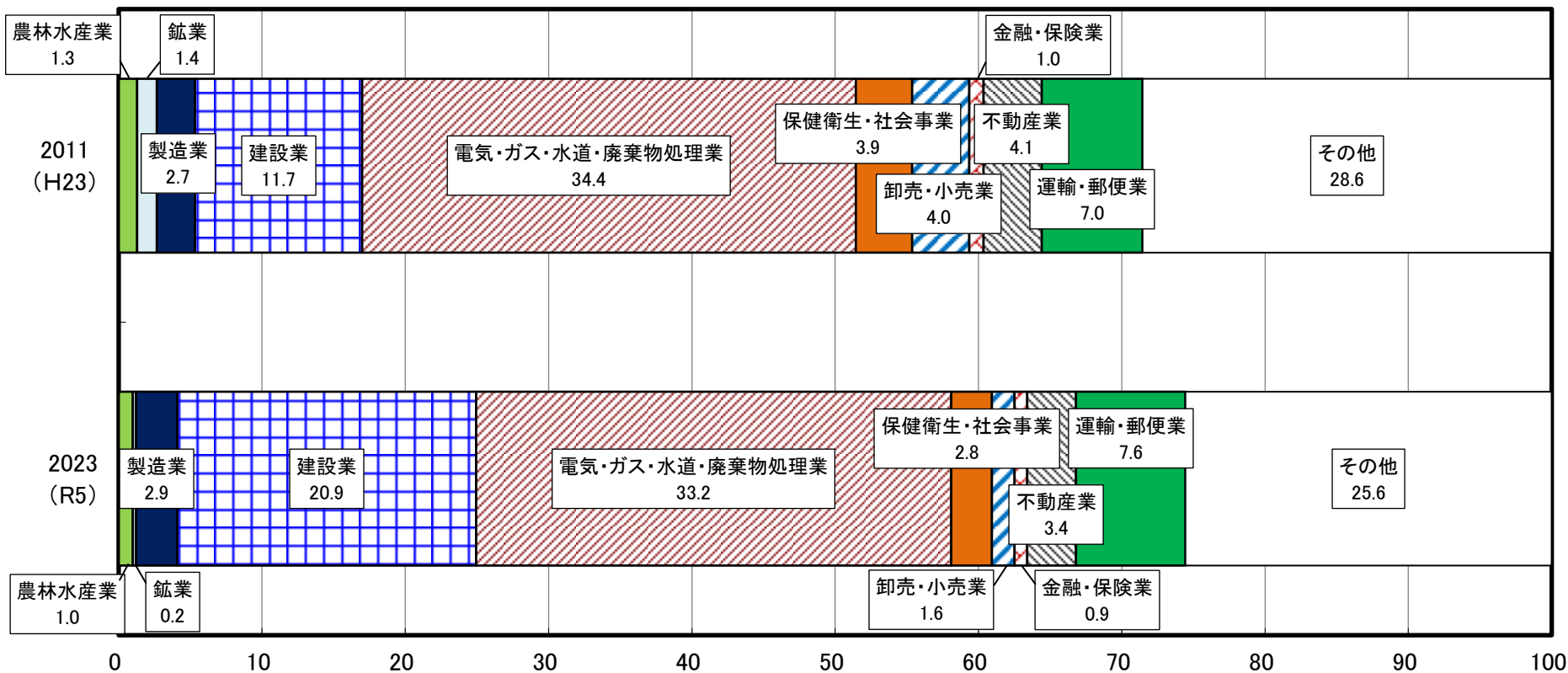
※ 1人当たり所得には企業所得等を含み、市町村全体の経済水準を示すもの



第2次産業が24%、第3次産業が74%を占める産業構造

電気・ガス・水道・廃棄物処理業、建設業の割合が高い

市町村内総生産の経済活動別構成比 (白川村)



出典: 岐阜県統計課「令和5年度(2023年度)岐阜県の市町村民経済計算」

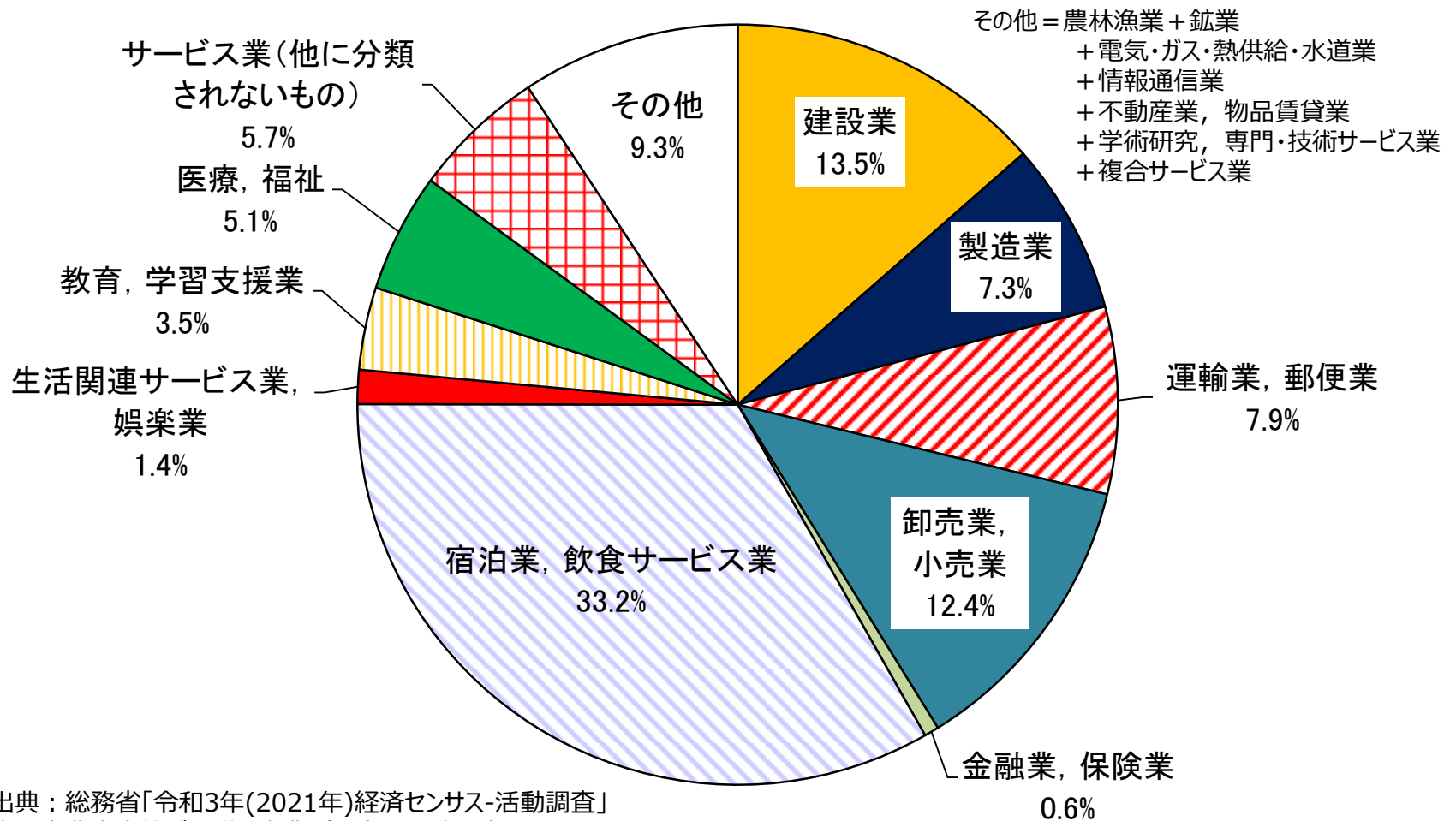
注1: 「不動産業」には、持ち家の帰属家賃を含んでいる。

注2: 「その他」は、宿泊・飲食サービス業、情報通信業、専門・科学技術、業務支援サービス業、公務、教育、その他のサービスの合計。

なお、輸入品に課される税・関税等も含めている。

産業別の従業者数は、宿泊業,飲食サービス業が33.2%と最も多い 次いで建設業が13.5%を占める

産業別従業員数の構成比(白川村 2021年)



出典：総務省「令和3年(2021年)経済センサス-活動調査」
注：事業内容等が不詳の事業所を除く。公務を除く。

産業別従業者でみると、全国と比べて、宿泊業、飲食サービス業、複合サービス事業の特化係数が高いことが特徴

産業別事業所数、従業者数（白川村 2021年）

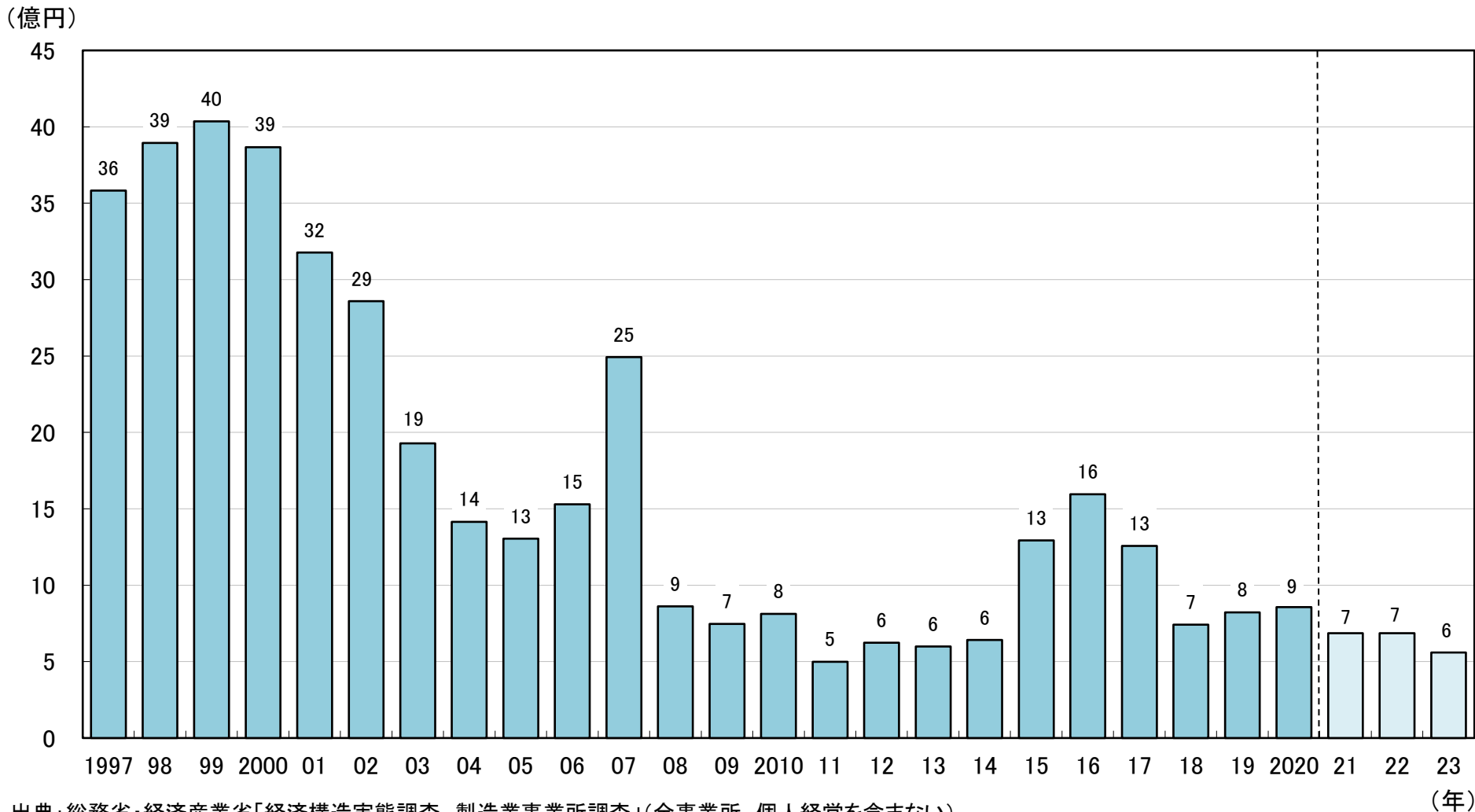
	事業所数	従業者数		産業別従業者数の 構成比による特化係数	
		(人)	構成比	全国=1.00	県=1.00
総数	212	969	100.0	1.00	1.00
農林漁業	3	15	1.5	1.98	1.43
鉱業	0	0	0.0	0.00	0.00
建設業	16	131	13.5	2.10	1.98
製造業	11	71	7.3	0.48	0.30
電気・ガス・熱供給・水道業	1	4	0.4	1.18	1.34
情報通信業	1	3	0.3	0.09	0.41
運輸業、郵便業	8	77	7.9	1.41	1.76
卸売業、小売業	41	120	12.4	0.62	0.65
金融業、保険業	1	6	0.6	0.24	0.27
不動産業、物品賃貸業	0	0	0.0	0.00	0.00
学術研究、専門・技術サービス業	3	44	4.5	1.24	2.00
宿泊業、飲食サービス業	87	322	33.2	4.12	4.06
生活関連サービス業、娯楽業	4	14	1.4	0.38	0.36
教育、学習支援業	9	34	3.5	1.04	1.31
医療、福祉	9	49	5.1	0.36	0.38
複合サービス事業	4	24	2.5	3.29	2.73
サービス業（他に分類されないもの）	14	55	5.7	0.63	0.79

出典：総務省「令和3年(2021年)経済センサス-活動調査」

注) 事業内容等が不詳の事業所を除く。公務を除く。

2023年の製造品出荷額等は、6億円

製造業製造品出荷額等の推移（白川村）



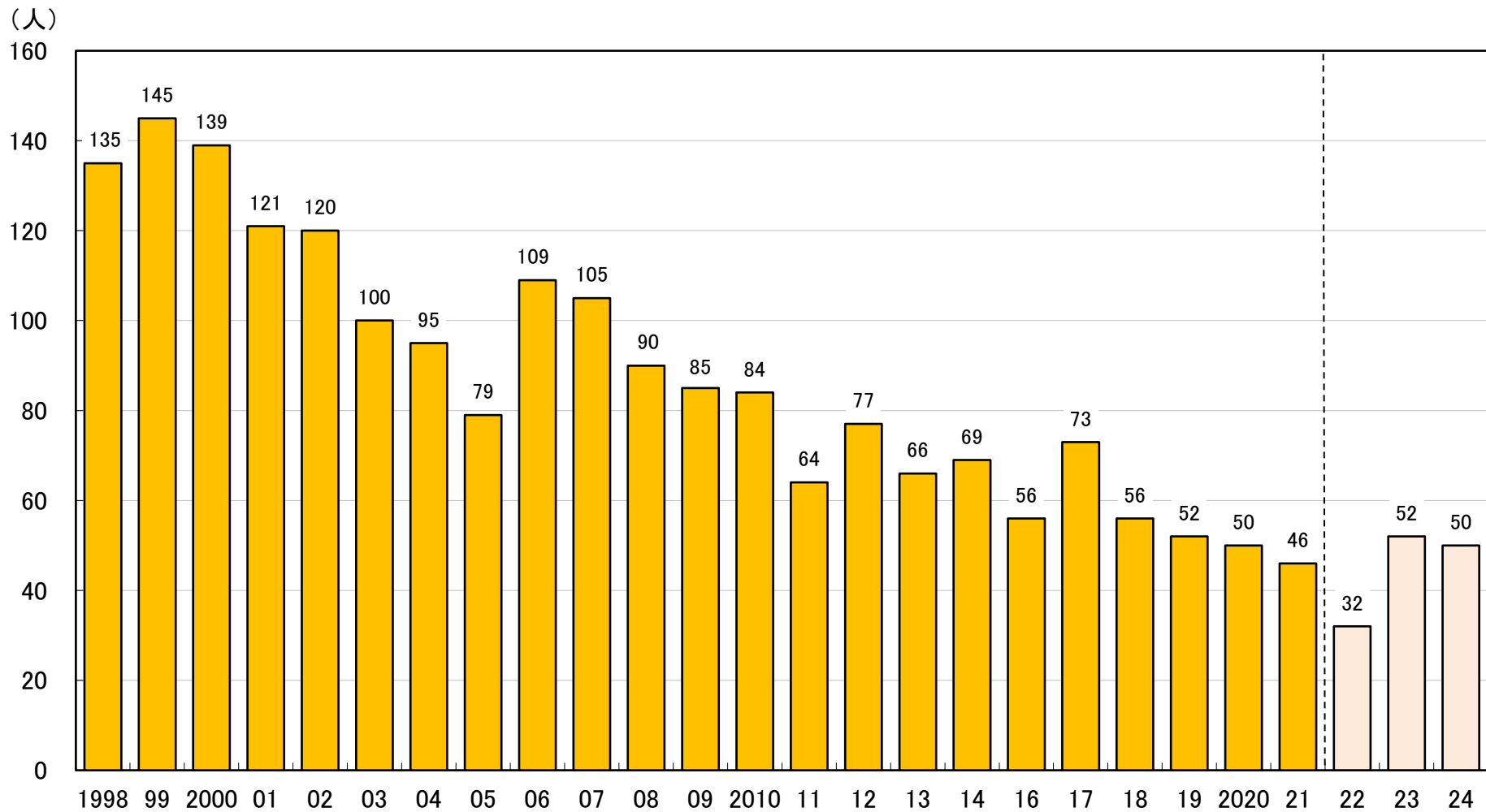
出典:総務省・経済産業省「経済構造実態調査 製造業事業所調査」(全事業所、個人経営を含まない)

1997年～2019年は経済産業省「工業統計」(従業者4人以上)、ただし2011年、2015年、2020年は総務省「経済センサス-活動調査」(従業者4人以上)

注:「経済構造実態調査 製造業事業所調査」と「工業統計」、「経済センサス-活動調査」は集計範囲等が異なるため単純比較できない。

製造業の従業者数は、減少傾向にあったが、近年は概ね横ばい

製造業従業者数の推移（白川村）



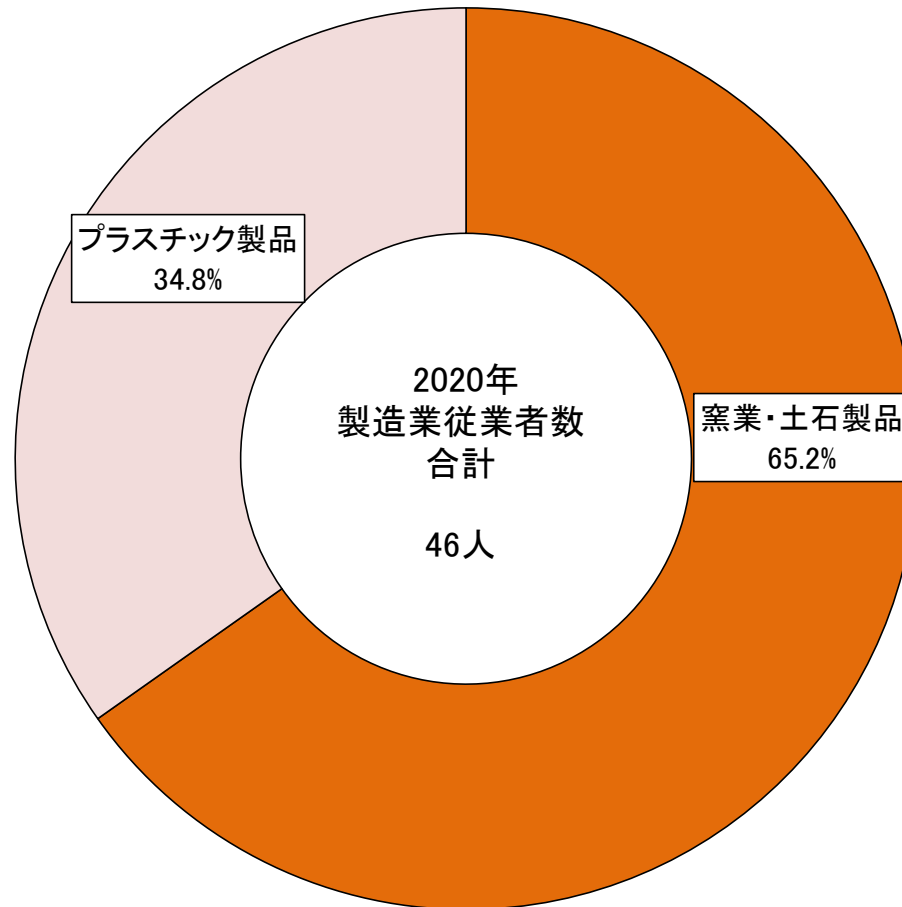
出典：総務省・経済産業省「経済構造実態調査 製造業事業所調査」(全事業所、個人経営を含まない)

1998年～2020年は経済産業省「工業統計」(従業者4人以上)、ただし2012年、2016年、2021年は総務省「経済センサス-活動調査」(従業者4人以上)

注：「経済構造実態調査 製造業事業所調査」と「工業統計」、「経済センサス-活動調査」は集計範囲等が異なるため単純比較できない。

製造業の従業者数で見ると、 窯業・土石製品が65.2%、プラスチック製品が34.8%

製造業の業種別従業者数の構成比 < 白川村 >



出典：総務省「令和3年(2021年)経済センサス-活動調査」(従業者4人以上)
注：単位未満を四捨五入しているため、合計は100%とならない場合がある。